

2026 先生のための「夏休み経済教室」
中学校版「シン・経済教育」実践発表

中学生にとって役立つ経済学習

－「肌感覚」から「腹落ち」する単元・授業構成の提案－



提案者
さいたま市立白幡中学校 市川 慶太

授業研究に大切な「そもそも論」から出発してみる

Q. そもそも、なぜやろうと思ったのか？

- ① 中学校では、誰もやる人がいなそうだった
(アイデアを具体的に落とし込むのは非常に労力がかかる)
- ② 教科書に沿った授業では限界があった
(特に経験の浅い人にとっての教科書は強い味方である一方で、最大の壁)
- ③ 授業数が減る中で、少ない時数で実践したかった
(学習指導要領改訂の過渡期で、なかなか授業が進まないという現場の声)

20分という少ない発表時間の中で、重点的に提案する
ポイントを3つに絞りました

経済の本質 × カリキュラム
マネジメント × ワクワクと
実用性



経済の本質



2025年先生のための「夏休みの経済教室」の篠原先生の
提案資料から経済の本質は何か?を理解する

－ 中学生に教える「経済の定義」－

私たちの暮らしをみんなで支え合う社会の仕組み

- ここまで端的に経済の本質を表現できれば、教える側も
教わる側も理解しやすい
- 経済の本質は、個人の暮らし、利益のためだけではないという
最も重要な点をおさえることができる
(中学生が誤解しやすい「私の暮らしを私が支える個人の仕組み」ではない)

経済の本質



2025年先生のための「夏休みの経済教室」の篠原先生の
提案資料から経済の本質は何か?を理解する

－ 中学生に教える「経済の6つの見方・考え方」－

キーワード:「希少性」「分業と交換」「つながり」
準キーワード:「信頼」「機会費用」「効率と公正」

→ 希少性だから機会費用、希少性だから効率的に、効率的には
自給自足よりも分業と交換、分業と交換にはつながり、つなが
るためには信頼、それでもなくなならないのが不公正

経済の本質



2025年先生のための「夏休みの経済教室」の篠原先生の
提案資料から経済の本質は何か?を理解する

－ 中学生に教えるための「指導のコンセプト」－

**普通の中学生に、生徒の役に立つ知識や考え方を、
肌感覚でわかる・使える道具にする**

→ 教材研究・教材作成の際に、指導の軸をぶらさずに、教科書
の中の枝葉の切り捨て、内容の組み換え、身近な事例の選定を
行いやすくなる

20分という少ない発表時間の中で、重点的に提案するポイントを3つに絞りました



カリキュラム
マネジメント

篠原先生提案の「経済授業の目次を組み替える」具現化するためにやったこと（注意点）

- ① 単元全体をつなぐストーリーの設定
- ② 生徒の素朴な疑問で問いを構造化
- ③ 具体的な事例と経済の3主体の関連

カリキュラム
マネジメント

経済授業の目次の組み替えには、章と章、節と節を結び接続詞の用意が必要（説明のストーリー化が必要）

単元全体で考え続ける問い

私たちの行動は、経済をどう変えるのか。

— 自分とみんなの人生と経済との関係性と役割とは？ —

→政治単元での「私たちの行動は、政治をどう変えるのか—政治と関わる」とはどのようなことか」との連続性を持って、問いを設定した。政治的な手段だけでなく、経済的手段でも社会を変えることができることを学び、個人と社会をつなぐことができる問いとして副題を設定した。

カリキュラム
マネジメント

経済の単元計画（全14時間） ※単元の導入とまとめを含む

単元計画（全14時間）	単元計画（全14時間）
1. 単元導入（1時間）	単元導入（1時間）
2. 単元展開（12時間）	単元展開（12時間）
3. 単元まとめ（1時間）	単元まとめ（1時間）

生徒が肌感覚で理解できる工夫

生徒の素朴な疑問で問いを構造化

「なぜ、価格は変わるのか？」
「価格を安くするためにはどうすればいいか？」
「なぜ、税金を納める必要があるのか？」

カリキュラム
マネジメント

具体的にどのように組み替えたのか
（教え方の固定概念を一旦、外してみる）

従来の単元構成
授業展開

「家計(消費)」
↓
「企業(生産)」
↓
「政府(分配)」



今回の単元構成
授業展開

具体的な事例
関連する「家計」「企業」「政府」
↓
具体的な事例
関連する「家計」「企業」「政府」
↓

20分という少ない発表時間の中で、重点的に提案するポイントを3つに絞りました





ワクワクと実用性が両立するための工夫 「自分のキャリアプラン」を結びつける

中学生にとっての経済単元の学びは

「今、役立つこと」

- ・需要と供給の関係
- ・希少性
- ・契約（家庭科も）
- ・消費者主権（家庭科も）

「将来、役立つこと」

- ・為替（円高と円安）
- ・株式会社の仕組み
- ・財政と税金
- ・労働の意義と権利
- ・金融

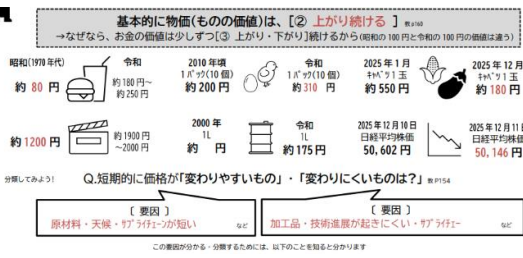


ワクワクと実用性が両立するための工夫 「様々なキャリアモデル」と授業を結びつける

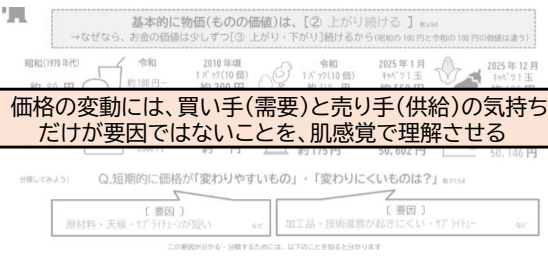
「今、役立つこと」×「身近な出来事」と結びつけて、「実用性」を感じる
「将来、役立つこと」×「将来の出来事」と結びつけて、「ワクワク」を感じる

キャリアモデル	キャリアモデル	キャリアモデル	キャリアモデル	キャリアモデル
【キャリアモデル】 1. 伝統的職人 2. 伝統的職人 3. 伝統的職人 4. 伝統的職人 5. 伝統的職人 6. 伝統的職人 7. 伝統的職人 8. 伝統的職人 9. 伝統的職人 10. 伝統的職人	【キャリアモデル】 1. 伝統的職人 2. 伝統的職人 3. 伝統的職人 4. 伝統的職人 5. 伝統的職人 6. 伝統的職人 7. 伝統的職人 8. 伝統的職人 9. 伝統的職人 10. 伝統的職人	【キャリアモデル】 1. 伝統的職人 2. 伝統的職人 3. 伝統的職人 4. 伝統的職人 5. 伝統的職人 6. 伝統的職人 7. 伝統的職人 8. 伝統的職人 9. 伝統的職人 10. 伝統的職人	【キャリアモデル】 1. 伝統的職人 2. 伝統的職人 3. 伝統的職人 4. 伝統的職人 5. 伝統的職人 6. 伝統的職人 7. 伝統的職人 8. 伝統的職人 9. 伝統的職人 10. 伝統的職人	【キャリアモデル】 1. 伝統的職人 2. 伝統的職人 3. 伝統的職人 4. 伝統的職人 5. 伝統的職人 6. 伝統的職人 7. 伝統的職人 8. 伝統的職人 9. 伝統的職人 10. 伝統的職人

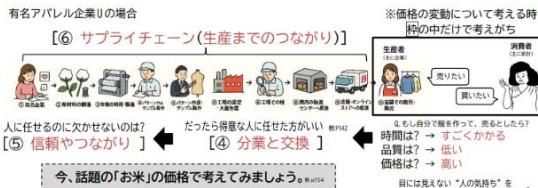
3時間目「なぜ、価格は変わるのか？」（導入）



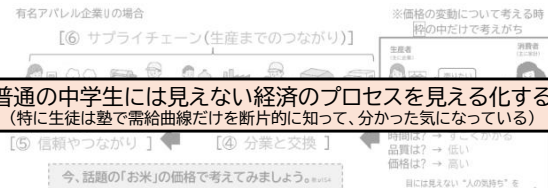
3時間目「なぜ、価格は変わるのか？」（導入）



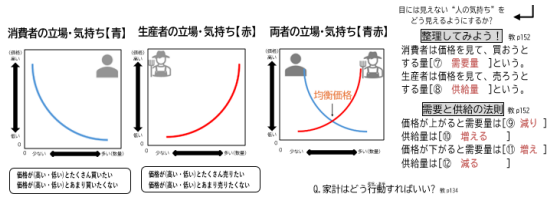
3時間目「なぜ、価格は変わるのか？」（展開1）



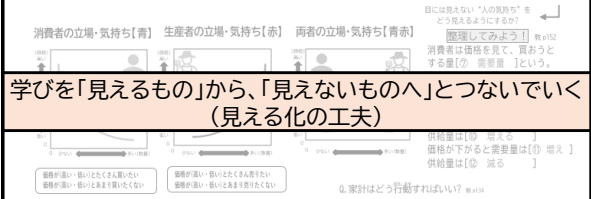
3時間目「なぜ、価格は変わるのか？」（展開1）



3時間目「なぜ、価格は変わるのか?」(展開2)



3時間目「なぜ、価格は変わるのか?」(展開2)



学びを「見えるもの」から、「見えないものへ」とつないでいく
(見える化の工夫)

3時間目「なぜ、価格は変わるのか?」(まとめ)

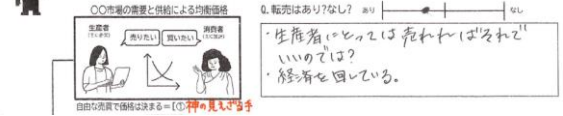


「今すぐできる実用性」と「将来できるワクワク」
「多面的・多角的」に考える視点を積み重ねる

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(導入)

考えてみよう 1) 転売ヤーは問題なのか、必要なのか。

▼人気アーティストのライブチケット、おもちゃなどなど

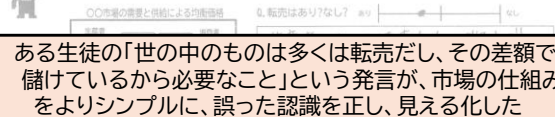


悪質な「転売」するだけでなく、「転売」そのものの是非について問う
生徒のフリマアプリから買ったことがある生活経験から考えやすい

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(導入)

考えてみよう 1) 転売ヤーは問題なのか、必要なのか。

▼人気アーティストのライブチケット、おもちゃなどなど



ある生徒の「世の中のもの多くは転売だし、その差額で儲けているから必要なこと」という発言が、市場の仕組みをよりシンプルに、誤った認識を正し、見える化した

悪質な「転売」するだけでなく、「転売」そのものの是非について問う
生徒のフリマアプリから買ったことがある生活経験から考えやすい

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(展開1)

でも、実は世の中にある「価格」は様々な存在する

種類 具体例

差別価格 映画館の座席、航空券のファーストクラス

均一価格 100円ショップ、食パン

独占価格 地域の電力会社、特許のある薬

二段階価格 スマホ料金、USJ、ディズニー

ダイナミックプライシング 宿、レストラン、航空券

平日と休日・週末・祝日の違い

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

Q. 「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」

「需要に応じて価格が変動する」という点で同じである両者を比較・対比することで、市場の良さを阻害することは要因を見つければ

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(展開1)

でも、実は世の中にある「価格」は様々な存在する

種類	具体例
差別価格	映画館の字幕、航空券の7~11月25日
均一価格	100円ショップ、食べ放題

Q、「差別化」は「差別」って同じくね?
 A、「差別化」は「差別」って同じくね?
 「差別化」は「差別」って同じくね?
 「差別化」は「差別」って同じくね?

経済は「私たちの暮らしをみんなで支え合う社会の仕組み」であることを立ち戻ること、個人の出来事と社会の問題を結び、見えないものへと誘っていく

「需要に応じて価格が変動する」という点で同じである両者を比較・対比することで、市場の良さを阻害することは要因を見つけ出す

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(展開2)

① 転売ヤーから見てくる「在るべき」市場の姿は?
 ② 「見える手」が機能するために必要な条件
 ③ 「公正」な競争と「消費者」の権利を侵害しない
 ④ 転売ヤーは「〇〇」
 ⑤ 市場経済がうまく機能しないこと = 「④ 外部不経済」
 ⑥ 本人や企業は「自由だ」と思っているけれども、本来はなくてはならないはずの「コスト」を、買ひの人がそのコスト(損)
 ⑦ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑧ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑨ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑩ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」

「需要に応じて価格が変動する」という点で同じである両者を比較・対比することで、市場の良さを阻害することは要因を見つけ出す

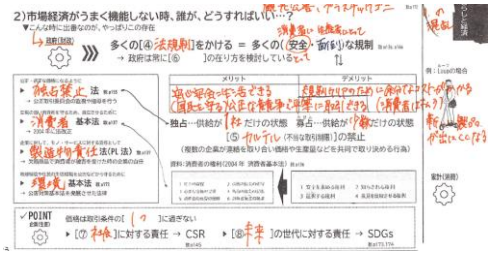
7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(展開2)

① 転売ヤーから見てくる「在るべき」市場の姿は?
 ② 「見える手」が機能するために必要な条件
 ③ 「公正」な競争と「消費者」の権利を侵害しない
 ④ 転売ヤーは「〇〇」
 ⑤ 市場経済がうまく機能しないこと = 「④ 外部不経済」
 ⑥ 本人や企業は「自由だ」と思っているけれども、本来はなくてはならないはずの「コスト」を、買ひの人がそのコスト(損)
 ⑦ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑧ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑨ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」
 ⑩ 市場の良さを阻害すること = 「④ 外部不経済」

見知らぬ人から買うためには、より健全な市場の在り方と機能を理解することができる(「つながり」「信頼」「公正」)

「需要に応じて価格が変動する」という点で同じである両者を比較・対比することで、市場の良さを阻害することは要因を見つけ出す

7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(まとめ)



7時間目「なぜ、価格を不正に操作しようとするのか?」(まとめ)

2) 市場経済がうまく機能しない時、誰が、どうすればいい?
 ① 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ② 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ③ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ④ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑤ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑥ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑦ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑧ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑨ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける
 ⑩ 多くの(安全)な競争をかける = 多くの(安全)な競争をかける

消費者側からでは見えない「政府」の法規制や「企業」の責任について理解を深めていく



成果 教師側の成果と生徒側の成果に分けて考えてみる

- 教師
- ① コンパクトな時数で、必要なことも教えることができて、生徒にも混乱がなかった。
- 教師
- ② 経済の本質(定義・指導のコンセプト・見方・考え方など)が明確であったため、指導のブレがなかった。
- 生徒
- ③ 経済の学びの全体像が可視化されていて、今、どこを、何を学んでいるのか把握して学ぶことができた。



成果課題

次回、もう一度実践するなら「ココ」を意識する

1

具体的な事例＋経済の3主体を扱うことで、本時の問いに正対しなくなる、適切な問いの設定が難しくなる。
→ 問いを2段階にするか、より広範な問いの設定を意識する。

2

「教師のやりたいこと」と「生徒の学びやすさ」を両立するための工夫は欠かせない。教師の自己満足で終わりにしない。
→ 教科書のどこを扱っているのかページ数を明記する。

3

多くの中学校社会科教員が経済学専攻ではないため、専門家や学術の知見を吸収できるようなコミュニティで学ぶ
→ 書籍だけでは限界がある。有益な情報は変わらず「人」が持っている

事前に頂いていた質問について

(教職経験21～30年、地歴公民担当・千葉県・公立高校の先生より)

「勉強を苦手な生徒に教えることが多いです」という前提を踏まえて

Q. 経済教育を楽しんでいると感じてもらうために大切にされていることは何でしょうか?

A. (経済教育だけではなく、)中学生の時の自分の感覚や考え方を忘れないで持ちつづけることだと思います。特に、年次を重ねれば重ねるほど、その感覚は忘れやすく、目の前の生徒とのギャップは生まれていきます。
経済教育だけで限定するなら、見えなかったものが見えるようになる感動や納得感、見えていたと思っていたのが見えなくなるような驚きや自己への懐疑などの意外性があることでしょうか。

事前に頂いていた質問について

(教職経験21～30年、地歴公民担当・千葉県・公立高校の先生より)

「勉強を苦手な生徒に教えることが多いです」という前提を踏まえて

Q. 授業実践されてみて、うまくいかなかった失敗談とそこから学んだ点があれば教えてください。

A. 本質的な問い(生徒が真剣に考えたいくなる問い)＋具体的な事例(取り上げる題材)がないとうまくいかないことがほとんど。

A. 実は、勉強が苦手な生徒だけでなく、勉強が得意な生徒も効率性よりもワクワクさや本質的な学びを求めている。

A. 生成AI時代の授業づくりは、どれだけ枝葉を切って、本質を取り出せるか。単に知識をたくさん持っていることの価値は失われて、「使える状態の知識」をどれくらい持っているかにシフトチェンジしている。

実践の一部ですが、何か気になることがあればいつでもご連絡頂ければと思います。皆さんの教材研究の参考になれば幸いです。



END

提案者

さいたま市立白幡中学校 市川 慶太